

朝晩すっかり涼しくなり、秋の気配を感じる季節となりました。

先日は、私たち八軒中学校吹奏楽・合唱部を広島にお招きいただきましてありがとうございました。

私たちは、どうしてもお礼をお伝えしたいことがあります。

福屋さんでコンサートをさせていただいた時のことです。

見ず知らずの場所でのコンサートは不安でいっぱいでしたが、たくさんのお客様に足を止めていただき、私たちの演奏に耳を傾け、温かい声援をいただきました。

「遠い広島の地で、こんなにも私たちのことを心配し一緒に心を痛み、応援してくださる方がいる・・・」

仙台から離れたこんなに遠くで・・・私たちのことを知らない方が・・・その事に驚き、コンサート最中にだんだんと心が温かくなるのを感じました。

コンサート終了後、あるご婦人が私たちのところへ来てくださいました。そして「これをあなたたちの活動に使ってちょうだい」と3万円ものお金を渡していただきました。

もちろんすぐに受け取るわけにはいきません。何度も何度もお断りしたのですが「震災復興の募金という形ではなく、あなたたちの活動に使ってほしいの」と・・・。

「せめてお名前とご住所を…」とお願いしましたが、何も言わず励ましの言葉と笑顔を残しその場を去ってしまいました。

私たちはどのようにお礼を伝えたらよいのでしょうか。こんなに私たちのことを思ってくださった方々に「ありがとうございます」を伝えられないことが悲しくてなりません。

みなさんのお気持ちを忘れないよう、いただいた義捐金で震災で壊れてしまった電子ピアノを購入させていただきました。

「あすという日が」はこれからもたくさんの場所で歌う機会をいただいています。その時に使わせていただき、その度に思い出したいと思います。本当にありがとうございました。

私たちは元気です。一度はあきらめかけたコンクールも開催され、吹奏楽は全国大会へ駒を進めることができました。合唱はこれから東北大会です。毎日元気に音楽を奏でていきます。

私たちは被災地で歌い続けましたが、いつも「本当に自分たちは歌ってよいのだろうか」ということを考え続けていました。しかし、今回の訪問を通して歌うことで多の出会いがあり、温かい気持ちをいただくことができることを感じることができ、勇気が出ました。これからも自分たちを支えてくださっている方に感謝をしながら精いっぱい頑張っていきたいと思います。

どうぞ、みなさんもお元気でお過ごしください。

私たちはみなさんのことを忘れません。いただいた気持ちを大事に、一生懸命生きていきたいと思ひます。

敬具